

## 2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科

## 高度教職実践専攻入学試験

(特別選考入試 (後期日程) : 小論文)

問	題	用	紙
---	---	---	---

## 注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

## 小論文注意

1. 解答は横書きとし、楷書で左から右へ書くこと。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。
3. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
4. 小論文解答用紙は汚したり、折りまげたり、破ったりしないこと。
5. 下書きは、別に配付の下書用紙を使用すること。試験終了後、下書用紙は持ち帰ること。

以下の論題について、1200字程度で解答してください。

## 論題

中央教育審議会は、2019年4月、文部科学大臣から「新しい時代の初等中等教育の在り方について」諮問されたことを受け、2021年1月、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）を取りまとめた。

総論では、2020年代を通じて実現を目指す「令和の日本型学校教育」の姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」としている。また、各論において、総論で示された改革の方向性を踏まえ、「9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について」「新時代に対応した高等学校教育等の在り方について」「新時代の特別支援教育の在り方について」など、「令和の日本型学校教育」の実現に向けた具体的な方策等（資料）が盛り込まれた。

そこで、自校における「令和の日本型学校教育」の実現に向けた具体的な実践について、二つ程度挙げるとともに、自校で実践する際に、あなたが主体的に取り組んできたことを自身の所属する校種を明らかにし、述べよ。

(注) ここでいう「自校」とは、現任校もしくは直近の勤務校を指している。

また、「校種」とは、小学校、中学校、高等学校などを示している。

**【9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について】**

- ◇ 教育課程の在り方
  - ・ 学力の確実な定着等の資質・能力の育成に向けた方策
  - ・ 補足的・発展的な学習指導について
  - ・ カリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組の推進
- ◇ 義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方
  - ・ 小学校高学年からの教科担任制の導入
- ◇ 義務教育を全ての児童生徒等に実質的に保障するための方策
  - ・ 不登校児童生徒への対応
  - ・ 義務教育未修了の学齢を経過した者等への対応
- ◇ 生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力を育成するための方策
- ◇ いじめの重大事態、虐待事案等に適切に対応するための方策

**【新時代に対応した高等学校教育等の在り方について】**

- ◇ 高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化
  - ・ 各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化（スクール・ミッションの再定義）
  - ・ 各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針の策定（スクール・ポリシーの策定）
  - ・ 「普通教育を主とする学科」の弾力化・大綱化（普通科改革）
  - ・ 産業界と一体となって地域産業界を支える革新的職業人材の育成（専門学科改革）
  - ・ 新しい時代にこそ求められる総合学科における学びの推進
  - ・ 高等教育機関や地域社会等の関係機関と連携・協働した高度な学びの提供
- ◇ 定時制・通信制課程における多様な学習ニーズへの対応と質保証
  - ・ 専門スタッフの充実や関係機関との連携強化、ICTの効果的な活用等によるきめ細やかな指導・支援
  - ・ 高等学校通信教育の質保証
- ◇ STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成

**【新時代の特別支援教育の在り方について】**

- ◇ 障害のある子供の学びの場の整備・連携強化
  - ・ 障害のある子供の就学相談や学びの場の検討等の支援について
  - ・ 小中学校における障害のある児童生徒の学びの充実
  - ・ 特別支援学校における教育環境の整備
  - ・ 高等学校における学びの場の充実
- ◇ 特別支援教育を担う教師の専門性向上
  - ・ 全ての教師に求められる特別支援教育に関する専門性
  - ・ 特別支援学級、通級による指導を担当する教師に求められる特別支援教育に関する専門性
  - ・ 特別支援学校の教師に求められる専門性
- ◇ 関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実

（『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」第Ⅱ部 各論より作成）